

(仮訳)

鉄鋼の過剰生産能力に関するグローバル・フォーラム 閣僚声明

2025年10月10日

2025年10月10日、南アフリカ共和国ケベルハにおいて、鉄鋼の過剰生産能力に関するグローバル・フォーラム（GFSEC）閣僚会合が開催され、世界的な鉄鋼危機の深刻化及び過剰生産能力による市場の歪みについて議論が行われた。

本会合は、豪州の議長の下、GFSEC 加盟国及び招待国の閣僚級及びハイレベル代表が一堂に会した。

会合出席者は、世界的な鉄鋼過剰生産能力の危機の深刻化、その原因及び影響、並びに現状を速やかに転換するための効果的な対応及び政策協調の必要性を認識した。GFSEC 非加盟国・エコノにおける非市場的政策及び慣行（NMPPs）は、国境を越えた投資や国際的な補助金を通じて鉄鋼過剰生産能力を助長し続けており、市場の安定、雇用、サプライチェーン及び脱炭素化の取組に対するリスクとなっている。貿易の迂回、貿易措置の回避及び間接的な鉄鋼貿易の影響は、強まっております、貿易措置は顕著に増加している。

世界の鉄鋼過剰生産能力は、2024年の6億1百万トンから2027年には7億21百万トンに増加すると見込まれており、過去10年間で最大となる。本会合参加国の合計生産量を2億48百万トン上回る規模である。附属書1は、深刻化する鉄鋼危機に関する更なる情報を提供している。

この危機の緊急性を踏まえ、GFSEC 加盟国閣僚は、世界的な鉄鋼過剰生産能力の根本的要因及び悪影響に対処するため、包括的な共同対応枠組みの策定に取り組むことを決意した。

- 閣僚は、GFSEC が2025年11月の作業レベル会合において、世界的な鉄鋼危機に対応するための共同対応枠組みの基盤の策定を開始し、2026年6月までに主要要素について合意することを目指すよう指示した。
- 閣僚は、GFSEC 加盟国が可能な限り速やかに、世界的な鉄鋼過剰生産能力及び鉄鋼生産国へのその影響に対処する措置を講じるべきであることに合意した。
- 閣僚は、鉄鋼のサプライチェーンの重要性、及びそれらが市場原則に基づいて機能する必要性を認識し、GFSEC 加盟国間で経験を共有し、サプライチェーンの健全性を脅かす政策及び慣行への対応策を検討することに合意した。

GFSEC 閣僚は、GFSEC 非加盟国における非市場的政策及び慣行（NMPPs）に焦点を当てた監視活動の強化に合意した。

- ファシリテーター及びGFSEC 加盟国は、関係者及び外部専門家との研究及び協議を通じて、NMPPsに関する情報を収集・共有する。これらの情報及び分析は、閣僚会合で発表された新たなGFSEC データ・視覚化ツールに適切に反映され、不公正な貿易の定義に関する手法の策定に資する。
- 加盟国は、2026年のGFSEC 作業部会を通じて、既存及び新たなツールの活用状況について定期的に情報を共有し、可能な限り行動の協調、透明性の確保、議論の促進及び効果指標の策定を図る。

- GFSEC 加盟国は、公的・民間金融機関、国際開発金融機関等が関与する鉄鋼分野のプロジェクトの資金調達に関する情報を収集・検討し、当該プロジェクトが世界的な鉄鋼過剰生産能力に寄与しているかを評価し、次の可能な対応を検討する。

GFSEC 閣僚は、貿易措置の実効性に関する経験の共有及び更なる透明性・理解の向上に合意した。

- GFSEC 加盟国は、鉄鋼製品の「溶解・鋳造」やその他の貿易関連データ等の収集・公表方法、世界的な過剰生産能力に対応するために講じた貿易措置、及びすべての迂回行為の検知・対応・抑止に関する情報を共有し、加盟国の能力向上及び対応ツールの強化を図る。

GFSEC 閣僚は、オブザーバー資格の可能性を含め、GFSEC の加盟国拡大に向けたアウトリーチ活動を強化することに合意した。

- 加盟国の増加は、世界的な鉄鋼過剰生産能力という喫緊の課題に対処するための国際的な取組を強化するとともに、関心を有す国々が GFSEC の原則及び政策提言を遵守することを促し、これにより、市場の安定性の向上につながる。

附属書 1 — 世界的な鉄鋼過剰生産能力危機の背景

世界の鉄鋼過剰生産能力は、その傾向を転換させる政策改革が行われないう限り、2027年までに7億2千1百万トンに増加すると予測されている。悪化する世界的な鉄鋼過剰生産能力の傾向は、根本的な市場需要を超える新たな能力の成長を促進する、幅広い非市場政策及び慣行（NMPPs）によって引き起こされている。これは、国有企業による国境を越えた投資や本来であれば市場から退出すべき非効率的で損失を出している鉄鋼生産者達を人工的に存続させることなどが含まれる。NMPPsは市場を歪め、雇用、投資及びサプライチェーンを危険にさらしている。世界的な鉄鋼過剰生産能力がなければ、GFSEC加盟国は、鉄鋼業界で少なくとも113,000人の追加労働者を雇用していただろう。

鉄鋼過剰生産能力の発生源は、市場の歪みを伴う輸出に継続的に依存する傾向を強めており、自国の鉄鋼過剰生産能力及び市場の不均衡を緩和しようとしている。これらの輸出は、GFSEC加盟国及びその他の市場志向型の鉄鋼産業に対して深刻な貿易の混乱、生産の減少及び雇用喪失を引き起こしている。これにより、産業サプライチェーンは弱体化し、革新的次世代生産技術への投資が減少し、市場志向型経済の経済安全保障が脅かされている。

世界的な過剰生産能力の増加は、世界の排出量に悪影響を及ぼし、排出量を大幅に削減するために必要な新技術及び既存技術への投資に対する鉄鋼企業の財務的能力を著しく低下させている。例えば、鉄鋼・鉄鋳業は世界の炭素排出量の最大8%を占めている。

世界的な鉄鋼過剰生産能力の影響に対処するため、貿易措置の発動が増加しているものの、これらの措置を回避する行動によってその効果は損なわれている。さらに、市場志向型の貿易相手国で、開かれた市場又は低い貿易障壁を有する国々は、過剰生産能力の発生源からの鉄鋼が自国市場に迂回されることにより、輸入圧力の増大に直面しており、自国の鉄鋼産業の存続可能性に対するリスクが一層高まっている。

これらの状況は持続可能ではなく、世界的な鉄鋼過剰生産能力によって悪影響を受け、GFSECの懸念を共有する鉄鋼生産国間における国際協力の強化及び政策協調の強化が求められている。